

一筆啓上・作左の会発足会

世話人十四名の方々のご尽力で、平成十一年十二月二十六日(日)、犬頭神社境内の宮地町公民館で発足会が開催されました。衆議院議員杉浦正健さま始め多くのご来賓のご臨席を仰ぎ、百八十人の参加者がありました。

当日、十一時から役員発表があり、会長として中之郷町の石川保夫氏に決まりました。また、事業計画として「愛・夢・緑」運動推進、「石のベンチの設置」、や書簡碑の建立、「作左の館」記念館の建設、取手市と丸岡町との交流、ふるさと読本の発行、講演会の開催等の提案、説明があり、了承されました。十一時三十分から東海古城研究会理事の神尾光昭さんによる「本多作左衛門」の講演がありました。

この一筆啓上・作左の会の発足会は、地元の新報で大きく報道されるなど大きな反響がありました。(資料1参照)



発足会であいさつする石川保夫会長



会場風景

つじじ

柵木 誠

いつまでも記憶に残るものとして会が選んだのは「一筆啓上碑」の設置でした。犬頭神社境内には「生誕碑」があるので、議論の中において学区民にいつまでも愛される場所として、市民ホームの一角が選ばれました。